

アトピー性脊髄炎及び抗 PlexinD1 抗体陽性神経障害性疼痛の全国調査に関する お願い

2018 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までにアトピー性脊髄炎または抗
プレキシン D1 抗体が陽性の神経障害性疼痛と診断された患者さんへ

研究協力のお願い

当科では、「アトピー性脊髄炎及び抗 PlexinD1 抗体陽性神経障害性疼痛の全国調査」という研究を倫理委員会の承認並びに施設長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2018 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までに、アトピー性脊髄炎または抗プレキシン D1 抗体が陽性の神経障害性疼痛と診断された患者さんの患者数と臨床所見・検査所見・治療成績を調査する研究です。研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかず
に、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は、下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

（1）研究の概要について

研究課題名：アトピー性脊髄炎及び抗 PlexinD1 抗体陽性神経障害性疼痛の全国調査

研究期間：研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

研究代表者：国際医療福祉大学大学院医学研究科トランスレーショナルニューロサイエンスセンター・高邦会福岡中央病院脳神経内科 吉良潤一

（2）研究の意義、目的について

この研究は、国指定難病であるアトピー性脊髄炎、及びこの疾患でみられることが多い抗プレキシン D1 抗体が陽性で神経障害性疼痛と診断された方の、日本における有病率と臨床所見、検査成績、治療成績を明らかにすることを目的として実施します。本研究により、アトピー性脊髄炎の診断基準をより適切なものにしたり、抗プレキシン D1 抗体の神経障害性疼痛における意義を明らかにしたりできると考えられます。

（3）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2018年1月1日から2022年12月31日までに当院脳神経内科において、アトピー性脊髄炎及び抗 PlexinD1 抗体陽性神経障害性疼痛と診断された患者さんの数と以下の情報を調査します。なお試料の提出はありません。

情報：性別、生年月、調査時年齢、出生地・現居住地・発症時居住地、総合障害度、診断名、家族歴、発症年月、発症年齢、受診歴、罹病期間、アレルギー疾患の合併の有無と種類、初発症状、初発部位、発症様式、臨床経過、経過中の神経症候（特に神経障害性疼痛の有無と分布や程度）、脳脊髄MRI所見、誘発電位検査所見（体性感覚、運動、視覚、聴性脳幹誘発電位）、末梢神経伝導検査所見、針筋電図所見、電流感覺閾値検査（Current perception threshold, CPT）所見、末梢血検査所見（白血球数、好酸球の割合、血液 IgE、抗 HTLV-1 抗体、抗核抗体、アレルゲン特異的 IgE）、抗 plexinD1 抗体、髄液所見、生検病理所見、免疫療法の種類と治療効果、神経障害性疼痛に対する治療薬の有無と治療効果。

（4）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイドンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

（5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

（6）問い合わせ等の連絡先

高邦会福岡中央病院脳神経内科 吉良潤一

〒810-0022

福岡市中央区薬院二丁目6番11号

電話番号：092-741-0300 FAX：092-781-2563

Email: junkira@ihwg.jp